

令和6年度 第1回栄養部会 研修レポート

記載者 老人保健施設アイユウ
吉田 英恵

〈日 時〉令和6年11月20日（水）10:00～15:00

〈場 所〉山口県セミナーパーク 研修室（60人室）201

〈参加者〉31施設 37名

〈内容〉

○10:10～12:00

介護報酬 栄養にかかわるポイント

講師 食のこんしえるじゅ

代表 松村 史樹 氏



- ・老健、通所、居宅にかかわる加算の内容について確認
- ・退所がない（入院者がいない）ことも栄養の成果であるという視点
- ・退所時栄養情報連携加算：転移先が居宅の場合は介護支援専門員にも情報提供が必要だが、その場合は相談員に聞くか、退所前カンファを開くと接点ができる。
転移先が他の介護保険施設や医療機関の場合は各施設に送付で良いが「管理栄養士宛」にしておくと情報が確実に伝わりやすい。
- ・経口維持加算は維持することが目的の加算であるため、改善が目的ではない。摂食（×口腔）機能障害があり、医師からの診断があれば算定できる。
- ・栄養マネジメント強化加算を算定しない理由としては「管理栄養士を増員しても採算が合わない」が1番に挙げられるようだが、その分通所や居宅の加算に人員を充てて収入を増やすことができる。対象者が増えることでやりがいにもつながる。

改めて加算の内容や解釈を確認することで、算定対象者の見直し、拡大ができるのではないかと捉えることができた。

○13:00～15:00

質疑応答・グループワーク

所属の地域が異なる6人ごとのグループを作り、講師へ質問や情報交換を行った。以下は内容の例である（グループによって異なる）。

- ・食材費高騰の影響と対策、委託会社との関わり方
- ・加算の具体的な取り方
- ・感染対策（COVID-19、インフルエンザ、ノロ）の具体的な実施方法、以前との変化

- ・人材確保の方法
- ・おすすめの栄養補助食品
- ・BCP 訓練の具体的実施法
- ・実地指導の指導例
- ・他職種との関わり方



参加申込書の質問事項（自由記載）にあげられた質問や困りごとを参考にして、具体的な業務改善策や、日頃の思いなどを共有した。施設に1～2人で勤務することが多い管理栄養士にとって意義のある時間となったのではないかと考える。

グループワークのテーマや、困難事例などがあればさらに活発な議論に展開できたのではないかと感じた。

以上研修報告といたします。開催にあたり事務局の方々、部員の方々にいろいろとご尽力やご助言をいただき進めることができました。ありがとうございました。